



白石区



第22号



2024年



3月発行

## 北東白石地区 北都町内会 高齢者の困りごと・生活支援に向けた取り組み



2023年8月、北都町内会にて「高齢者の困りごと・社会参加アンケート」を実施しました。

2月14日(水)に、まずは町内会の役員のみなさまに集まっていただき、アンケート結果の共有と、課題を整理しました。

アンケート結果を受け、役員のみなさまからは「決して回答率は高くないものの、町内会に住む方々がどういったことに困っているのか、その傾向を知る一つの指標にすることはできた」「アンケートに回答してくれた人は我々の活動に関心を持ち、何か困ったことがあったときにSOSが出せる人だと思うから、それすらできない人に対する細やかな支援が必要なのではないか」といった意見が出されました。



今回は、町内会役員と区社協で話し合い、課題の整理については、「地域でできること」と「関係機関に相談が必要なこと」の仕分けを行いました。

次回は関係機関も交えて、「関係機関に相談が必要なこと」について話し合いを行います。

札幌市白石区社会福祉協議会

〒003-8612 札幌市白石区南郷通1丁目南8-1 白石区複合庁舎1階

TEL：011-861-3700 FAX：011-866-8999

## 北白石地区 北郷東町内会 「地域交流 娯楽の日」開催

1月11日(木)北郷東会館で開催された「地域交流 娯楽の日」を見学してきました。

北白石地区では集いの場やボランティアに参加する方々が年々減少しており、特に男性参加者が少なくなっています。コロナの影響もあり閉じこもりがちとなり足腰の筋力低下でフレイルについて相談が増えています。

認知症が重症化してからの相談が多いことから地域や関係機関と協議を行い「地域交流 娯楽の日」が開催されることとなりました。



当日はお茶やコーヒーを飲みながらゆったり過ごせる「くつろぎの場」、初心者大歓迎の「麻雀大会」、みんなで作って食べる「ランチ会」など盛りだくさんの内容となりました。

参加された方より「普段は家で読書をしているが、みんなで話したり食事をするのは楽しい」との声を伺っています。

今回の取り組みを進め、集いの場を通じた住民同士の助け合いや介護予防のきっかけとなるよう今後も地域や関係機関と話し合いを続けてまいります。



## 東白石地区 本郷町内会 「支え合い体制拡大へ向けた取り組み③」

2月19日(月)本郷会館にて、過去に認知症サポーター養成講座を受講された方を対象に、「認知症サポーター養成講座 フォローアップ講座」が開催されました。

当日はグループワークを行い、自分が認知症になったらどんな地域で過ごしたいか、認知症への理解がすすんだ地域にするためにはどのような取り組みが必要かを、参加された方々と地域包括支援センター、介護予防センター、区保健師、生活支援コーディネーターで話し合いました。「困ったことがあったときに助けてもらいたい」「見守りをしてもらいたい」「外で会ったら声をかけてもらいたい」など地域とのつながりを求める声が多く聞かれました。そのためには隣近所との関係づくりや、町内会活動に積極的に参加することが必要との意見がだされました。

同町内会では、生活の困りごとに「暮らし応援隊」が対応されており、今後は見守り活動にも力を入れていきたいとお話しを伺っています。来年度は、同町内会のような地域での支え合い活動を近隣の町内会へ広げていくための取り組みを進めていきます。

